

衆院解散 総選挙

27日公示 来月8日投開票

首相 連立の信任問う

衆院は23日午後の本会議で解散された。政府は臨時閣議で衆院選日程を「27日公示、2月8日投開票」と決定する。高市早苗首相（自民党総裁）は、日本維新の会との連立政権枠組みや飲食料品を2年限定で消費税の対象外とするなどの連立政権合意について国民に信任を問う

解散翌日から投開票まで戦後最短16日間の短期決戦となる。食品消費税率引き下げの期間や代替財源のほか、「政治とカネ」問題への対応、外国人政策、選択的夫婦別姓、解散の大義などを巡り論戦が交わされる。

県内10氏 出馬予定

県内3小選挙区で、富山1区は自民党の公認を得た元職と、得られず無所属で出馬する前職との自民分裂選になる見通しで、中道改革連合の前職と共産、参政派を予定している。

衆院選は2024年10月27日以来。小選挙区289、比例代表176の計465議席を争う。首相は勝敗ラインを与党で過半数（233）と位置付け、進退を懸けるとした。

衆院解散により、26年度予算の3月末までの成立は困難となる。野党は、国民公算が大きく、富山3区には自民前職と国民民主、共産両党の新人2人が立候補を予定している。

衆院解散により、26年度予算の3月末までの成立は困難となる。野党は、国民公算が大きく、富山3区には自民前職と国民民主、共産両党の新人2人が立候補を予定している。